

注目

## 学校評価アンケート結果の分析・考察その2

### <教育目標「自律」について>

<設問5> 先生・飯野中は生徒の良さを認め伸ばす支援をしている

<設問6> 家庭と連携し、生徒を褒める場面を多くしている

「良さを認め、伸ばす支援をしている」への生徒回答では全校生徒の97%、「褒める場面を多くしている」への生徒回答では96%、いずれも、2年生にあつては100%がプラス評価をしています。



ご存知のとおり、本校では「良さを認め伸ばす、褒める・認める指導」に力を入れています。こうした機会を多くすることによって、教師との信頼関係を深め、自尊心を育て、自己有用感・自己肯定感を持たせることにつながります。その積み重ねが自信となり、何事にも積極的に取り組む力や態度、

習慣が身につくものと考え、生徒と接してきましたので、この生徒回答はとても嬉しいデータです。

それに対し、保護者回答では「良さを認め伸ばす支援」は93%と若干低目となり、「生徒を褒める」への回答では、88%と1割近く低くなっています。プラス評価の割合を見ると、生徒は最高評価4が6~9割なのに対して、保護者は評価4が2~6割と、低い評価の方が多くなっています。

この設問に対する生徒と保護者の認識の違いは何が原因しているのか、なかなか考察が難しいのですが、「家庭と学校との連携」の部分で、もっとできることがあるように思われます。今後も、生徒一人一人と向き合い、生徒の良さを認め、さらに伸ばし、褒めることを大切にして、教えるべきことはしっかりと教えながら、生徒一人一人が自信を持って物事を前向きにとらえていけるようにしたいと考えます。

<設問7> 自分から元気なあいさつや、早寝早起き朝ごはんの実践

昨年度、この設問に対して保護者の20%超がマイナス評価をしていましたが、今回は、保護者全体のマイナス評価が8%と半数以下に減少しました。生徒もプ

注目

ラス評価が93%と高く、とても素晴らしいことだと思います。

朝の登校状況を見ていると、笑顔かどうかはマスクのために見えませんが、元気にあいさつしてくれる生徒が多く、帰りにも元気なあいさつをしてくれます。また、下学年の生徒が上学年の生徒に対してあいさつをし、先輩も、ちゃんとあいさつを返している姿もよく見かけられます。できれば、次は、同級生間でみんなと元気にあいさつを交わしてほしいと思う場面がありますので、「親しき仲にも礼儀あり」を実践してみてください。

本校では、学校では力の及ばないところ=家庭での徹底事項として、これまでいつもお願いしてきた「早寝・早起き・朝ごはん」についても、この設問に含まれていますので、参考までに、11月初旬にまとめた「朝食について見直そう週間」の調査結果を紹介します。

「見直そう週間」最終日の調査では、その日の欠席が3名、出席者109名のうち、なんと99.1%が朝食を摂取していました。徹底が図られてきたことを実感する数字でした。ほとんどの家庭で「早寝・早起き・朝ごはん」の朝ごはんの徹底が図られてきていること、保護者の皆様の取組が素晴らしいと感じます。

ここまでよくなったら、さらに上を目指したいということで、実はその調査には続きがあり、「朝食に野菜を食べた生徒」は70.9%、「朝食に汁物を食べた生徒」は60.9%という結果でした。

頭をしっかりと働かせるためには、体調を整えるビタミン類を含んだ野菜の摂取が必要ですので、朝ごはんの質をさらによくしてほしいと思います。

よろしくをお願いします。

<設問8> 規範意識・自分からルールやマナーを守って生活している

全般的に、保護者の評価のほうが厳しい傾向があり、数値にも現われています。でも、この項目では、生徒・保護者が同じような評価となっており、プラス評価が生徒98%、保護者96%でした。ただ、評価4と評価3の割合を見ると、保護者の方が厳しい見方をしていることが分かります。



学校生活を見ると、毎朝、ほぼ7:50過ぎには登校が完了し、8:10の始業時刻前から、教室で読書や自習が始まります。朝の全校集会では、入場時刻の5~8分も前に全校生が入場を完了し、無言で整然と整列し、生徒会役員が集会をピシッと運営します。生徒は、自主的・自律的に校内でのルールを

守り行動しています。

規範意識の面でも、近年、本校生は常識や法律・ルールを逸脱するような行為をすることはありません。落ち着いた学校生活の中で、「先輩に倣い、先輩に追いつき、先輩を越える！」というすばらしい伝統があります。今後もその伝統を大切に、よりよい学校を創って行きたいと考えています。

注目

### <設問 10> 自分自身の生活や学習を改善しようと心がけている



生徒回答では全体の93%がプラスの評価で、特に2年生は100%がプラスの評価でした。一方、3年生ではプラス評価が88%で90%を下回りました。志保井が丘ノートへの取組、活用状況にもつながっています。保護者回答でも、全体の90%がプラス評価をいただいています。

3年生生徒・保護者のマイナス評価の割合に注目すると、生徒が12%で保護者が8%という結果になっており、全体・他学年のマイナス評価の割合と逆転していることが分

かります。

3年生になると、志保井が丘ノートに頼らずとも、受験に向けた学習にP-D-C-Aのサイクルを回して充実させられると考えて実践しているのかもしれない。どうでしょうか？

### <設問7・8 関連> 保護者アンケートの自由記述から

- 数年前に比べ、「元気なあいさつ」の意識が低下したように感じます。(1年)
- 部活動帰りの服装が……。タオルを首や頭にかけて、水筒を飲みながら歩く生徒が見受けられる。昔はもっと厳しく指導されていたと思います。コロナ対策の影響もあるのでしょうか。(1年)
- 車が来ても避けようとせず、話をしながら車の方を見て歩いています。女子4人横並びで。車が来ていると分かっていると思います。中学校のそばは道が狭いので、気をつけてほしいです。男子は、自転車の子たち、2人横並びで話をしている子がいました。これも危ないです。対向車が来ると、ほんとにビックリします。せめて避けてほしいです。(2年)

1点目の「元気なあいさつ」については、新生徒会役員があいさつ運動を引き継ぎ、毎朝がんばって取組んでいます。元気なあいさつをする生徒は少し少なくなった気がしないでもないですが……。外部的にはどうでしょうか？ この件は、教師からの指

導という形ではなく、生徒会の自主的な活動として、一人一人の意識を高めて行きたいと思います。

2点目・3点目について、学校では毎日、部活動後の完全下校時刻を中心に、日頃から下校指導・安全指導をしています。ご意見をいただいた生徒たちの行動は、コロナとの関係はないと思いますが、とても危険な行動がありますので、さらに指導が必要だと考えます。

ただ、一緒に考えていただきたいのは、これらは学校の下校指導後のことであり、そうだとすれば、それは先生の目の届く範囲外の行動となってしまうことが多いということです。通学路を監視カメラ等で監視しないと、学校では把握しきれないこと、言い換えれば学校での指導だけでは限界があることなのです。

ではどうすればいいのでしょうか？ その解決にむけては**地域の力・保護者の力を借りる以外にはありません**。目に余る行為を見かけた時、**その場で、その時に、そこにいた大人が指導するのが最も効果がある**と考えます。

「中学生のことは中学校に任せておけば……」と考えるような保護者は本校にはいないと思います。一人の人間・社会人として「あれっ？」とか「これは……」と感じるような行動を見たら、決して**やり過ぎず、声をかけてください**。

**親として、地域の大人として、愛情と責任を持って、飯野中の生徒のよい部分にも、改善が必要な部分にも、できるだけたくさん関わっていただくことが学校と一緒に生徒を育てることとなります。生徒は、身過ぎす大人も見過ぎさない大人も、どちらも見て育ち、どちらかを見做った大人になります。**

本校の文化祭や各種行事等を見ても、飯野町は教育に対する深い理解と古くから培われてきたすばらしい地域性を感じます。そんなすばらしい地域の教育力を生かして、本校生徒の校外での生活や行動についても、まだまだ改善できるものと期待しています。飯野町の教師・保護者・地域がワンチームとなり、高い意識とチームワークで地域の教育力をさらに高めていきたいですね。

朝の中学校の職員室に、「昨日の帰り道に、2列で歩いていた〇年生の△△と□□に一声かけておきましたよ。学校でもよろしくお願ひしますね。」という電話がかかってきたら、学校としては、とてもうれしいことです。

「生徒と一緒に育てている」という実感が持てます。

もちろん、校内での生徒への指導は、今後も、教員一丸の「チーム飯野中」として責任を持って精一杯取組んでいくことを、ここで確認させていただきます。

チーム飯野町の協働体勢構築に向けた貴重なご意見、ありがとうございます。

